

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マ-ト*(参考)
B 6 5 D	1/36	B 6 5 D	3 E 0 3 3
	25/20		Q 3 E 0 6 2
	75/24		3 E 0 6 7
	85/32		A 3 E 0 9 6
			J
審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 7 頁)			

(21)出願番号 特願平11-217748

(22)出願日 平成11年7月30日(1999.7.30)

(71)出願人 000124166

加茂 守

大阪府池田市旭丘1丁目3番31号

(72)発明者 加茂 守

大阪府池田市旭丘1丁目3番31号

(74)代理人 100064436

弁理士 佐當 彌太郎

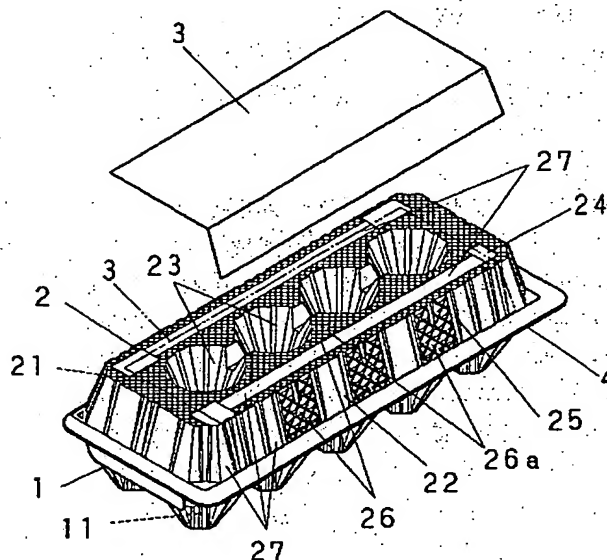
最終頁に続く

## (54)【発明の名称】 シート成形包装容器

## (57)【要約】

【課題】 合成樹脂シート製容器の外面に貼着された商品表示用のラベルが温度や湿度による外的条件によって自然に剥がれることがなく、容器の使用後やりサイクルとして回収された後に剥離する場合には、容易に剥離する事ができるラベル貼着面を備えた容器の提供。

【解決手段】 合成樹脂製のシート素材を膨出成形させてなる容器であって、商品表示用ラベル3を貼着させるラベル実効貼着面積を微小なものとした微小凹凸部26と、ラベル貼着力が通常状態に保持する小面積の平面部27とが併存する形態で形成されている。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 合成樹脂製のシート素材を膨出成形させてなる包装用の容器であって、商品表示用のラベル(3)を貼着するラベル貼着面(22)、(24)が、実効貼着面積を減少させて貼着力を弱くする微小凹凸部(26)と、該微小凹凸部(26)の凸部先端面と略同高さに突出させてある貼着力を通常状態に保持する小面積の平面部(27)とが併存する形態で形成されているシート成形包装容器。

【請求項2】 包装容器が鶏卵の下半分が収納できる深さの鶏卵収容凹部(11)が複数個並べて形成されている容器本体(1)と、鶏卵の上半分を覆う蓋体(2)とが一側の折り曲げ部(4)を介して一連となって形成されている鶏卵包装用の容器である請求項1に記載のシート成形包装容器。

【請求項3】 前記微小凹凸部(26)が、梨地模様形、不定形凹凸模様形、半球凸状形、截頭円錐突状形等の微小突起(26a)を密集形成したものである請求項1または2に記載のシート成形包装容器。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、一般に知られている合成樹脂製のシート素材を膨出成形させてなる主として食品包装用の容器に関し、容器における商品表示用のラベルを貼着するための面を備えた容器において、壁面のラベルに対する粘着力を調節し、該ラベルが自然に脱落しないだけでなく、内容商品の販売のために冷蔵または冷凍保管した場合、若しくは店内において、冷蔵機や冷凍機内に収容させた状態で販売するような場合にあって、貼着したラベルが吸湿若しくは結露現象によって自然に剥離し、商品価値を低下させるような不都合な事態の発生を回避し、所要の貼着力をもって十分に貼着されているものでありながら、必要な場合は容易に確実に剥離除去することができるラベル貼着面を備えた容器に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】合成樹脂シート素材を膨出成形させてなる従来のシート成形包装容器の一例を鶏卵包装容器について簡単に説明すると、鶏卵の略下半分が収納できる深さの鶏卵収容凹部が複数個並べて形成されている容器本体と、鶏卵の略上半分が収納できる深さの鶏卵収容凹部が形成されている蓋体とが折り曲げ部を介して一連となって成型されている。蓋体には、鶏卵を収容して閉蓋した時に天井となる上壁から内方に向かって鶏卵を相互に隔てる支柱が形成され、また、その上壁並びに側壁はラベルを貼着するための略平坦面となっており、鶏卵を収納した後蓋体を前記折り曲げ部の部位で折り曲げて容器本体の上から被せ、重なり合った容器本体並びに蓋体の夫々の外周縁部を粘着テープ又はホッチキスで止めて閉蓋する。しかる後、略平坦面となっている蓋体の前記上壁、若しくは長手方向側壁とに掛けて商品表示ラベルを

貼着して包装を完了す

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述した構造の鶏卵容器は、従来は粘着性のラベル等を貼着する面は一般に平滑な平坦面とされており、該平坦面はシート素材が有する鏡面状となっていた。一方で、合成樹脂素材は環境の悪化は正問題と資源の循環利用の問題とから使用後に回収が計られ、回収した容器を粉碎化しペレット化して再利用に供されるようになりつつある。しかしながら、従前の容器にあっては、前記のように、ラベル等の貼付面が鏡面状となっていたため、一旦貼着した粘着性のラベル等の剥離除去が極めて困難であり、折角回収されてもラベル等を剥離することが困難で、その剥離除去のためにコストがかかり過ぎ、再利用の大きな障害となる問題点があった。

【0004】上記問題点を解消するために、本発明者は先にこの様な合成樹脂シート素材を膨出成形させてなる容器のラベル等の貼着面を微小凹凸状とし、貼着面に微小な空間ができるように形成して実効的な貼着面積を減少させ、回収後にラベル等の剥離を容易とする事のできる合成樹脂シート製容器を提供し、効果を得て初期の目的を達成したが、ラベル等の粘着力が例えば温度と湿度の変化により変動したり、特に冷蔵または冷凍保存時のように低温多湿の状態では粘着力が低下して自然剥離し脱落するという事態が生じ、又、この事態は微小凹凸の形状を変化させても、或いはラベルの粘着力を調整しても剥がれ方が異なるだけで自然剥離の発生を完全に防止する事ができにくいという解決すべき課題を有していることが判明するに至った。

【0005】そこで、本発明者は、このような課題を解消するために、流通段階に於て粘着性ラベルが自然に剥離変形したり脱落することがなく、購入者が内容物、ここでは鶏卵の使用を終えて容器を廃棄する場合に、ラベルの剥離が容易にでき、または、リサイクルのための容器の回収後におけるラベルの剥離が容易にでき、多くのコストを掛けることなくラベルを除去することができる樹脂シート製容器を提供することを目的とする。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するためのシート成形包装容器の構成を実施例を示す図面と共通の符号を用いて説明すると、本発明のシート成形包装容器は、合成樹脂製のシート素材を膨出成形させてなる包装用の容器であって、商品表示用のラベル3を貼着するラベル貼着面22、24が、実効貼着面積を減少させて貼着力を弱くする微小凹凸部26と、該微小凹凸部26の凸部先端面と略同高さに突出させてある貼着力を通常状態に保持する小面積の平面部27とが併存する形態に形成されている構成としたものである。

## 【0007】

【発明の実施の形態】本発明を実施するに当たっては、

容器本体1と蓋体2とは合成樹脂シートを材料とし、形状のアウトラインは従来とほぼ同様とし、真空成形若しくは圧空成型によって所定の形状を付与する。合成樹脂シートはこの様な容器に対して従来から用いられているシート材であればいかなる種類のものでも使用できるが、合成樹脂シートの素材をPET（ポリエチレンテレフタレート）樹脂とすると廃材リサイクルが可能であり、又、焼却処理する場合でも発熱量が少ないので、焼却炉の寿命を延ばし、且つダイオキシン等の有害物質の生成を防いで公害問題解決に対処し得るものである。

【0008】前記の微小凹凸部26は、梨地模様形、不定形凹凸模様形、半球凸状形、截頭円錐突状形等の微細または微小突起26aが所望の範囲に群体としてラベル貼付予定面に形成される。

【0009】また、前記小面積の平面部27は、前記の微小凹凸部26のみでは従来品と同じくラベルの粘着力が不足し、また、小面積の平面部27のみでは粘着力が大きすぎて前述のごとくラベルの剥離が困難となるので、平均して粘着力に余裕を持たせるようにするために、微小凹凸部26と共に適当な面積割合となるように形成される。従って小面積の平面部27は貼着されたラベル3の端縁部のように外力を受けやすく、且つ受けた外力によって剥離のきつ掛けになり易い部位に、当該部位の粘着力を少し大きくする目的で形成しておいてもよい。

【0010】以上のごとく、容器のラベル貼着面を、本発明にいうところの表面構造とすることにより、ラベルの貼着力が適正に保持され、ラベルが貼着された状態では十分な粘着力を有して自然に剥離して変形したり脱落したりするということが解消され、併せて、容器の使用後におけるラベル等の剥離時には剥離除去が容易にでき、容器の回収後にラベル等を剥離するに当たっても、多くのコストを掛けることなく容易に除去することが可能となり、廃棄容器のリサイクル率を高めるのに有益な効果を有する。

【0011】

【実施例】以下本発明の詳細を、各種の実施例を示した図面に基き説明する。図1は本発明の第1実施例の閉蓋状態の斜視図、図2は第1実施例の開蓋状態の平面図、図3は図2に於けるA-A線断面図、図4乃至図6は同背面図、右側面図及び左側面図である。また、図7、図8は第1実施例の変形例及び他の変形例の閉蓋状態の斜視図。図9、図10はそれぞれ微小凹凸部を拡大して示した斜視図である。

【0012】図1の斜視図並びに図2乃至図6を基に、本発明の第1実施例を説明すると、第1実施例は鶏卵が10個収納できる鶏卵収納用の容器である。鶏卵収納凹部11、21は内部にあって不可視なので、図1に於てはその相当位置を点線と符号により示した。又、ラベル3は貼着されるべき位置を矢印により表示した。微小凹

凸部26は、第1実施例の縦横に交差する溝によって形成される外形辺が4辺形の微小突起26aの集合からなり、上壁のラベル貼着面24では後述する小面積の平面部27を除く全面に、又、側壁のラベル貼着面22では長手方向の両端部を除く中央寄りの3箇所に、補強リブ25の間の部位に形成されている。微小突起26aは、この他にも図9に示す截頭円錐突状形や図10に示す不定形凹凸模様形、図示は省略するが梨地模様形、半球凸状形等を適用する事ができる。

【0013】小面積平面部27は、第1実施例では、上壁のラベル貼着面24では4隅に記号の記入を兼用する小面積の4角形の領域と、この4隅の4角の領域を長手方向に繋ぐ細長い帯状の部分とからなる。又、側壁のラベル貼着面22に於ては長手方向の両端部近傍、即ち貼着された細長い商品表示ラベルの両端部に相当する位置が小面積の平面部27となっており、商品表示ラベルが端部から剥がれる事を防止している。

【0014】図7に第1実施例の変形例の形状を示す。原形である第1実施例に対して上壁のラベル貼着面24に形成された小面積の平面部27の形状が異なっていて、連続した四角い枠形としてある。原形と同じく枠形の隅の一部に記号の記入を兼用するための幅広の領域が形成されている。微小凹凸部26の構造は第1実施例と同一である。又、図8に第1実施例の他の変形例の形状を示す。前述の変形例に対して上壁のラベル貼着面24に形成された小面積の平面部27の形状が更に異なっていて、全体の接着力を調節するために前記四角い枠形の途中に途切れた部位（図では全体で8箇所）を設けた形状としたものである。微小凹凸部26の構造は第1実施例及び前記変形例と同じである。これら2種の変形例の作用と効果は原形である第1実施例と同じである。

【0015】上述の各実施例、変形例の卵容器は容器本体1の凹部11の内部に鶏卵が収容され、蓋体2が容器本体1に覆い被せられて夫々の斜視図に示すような状態となり、図1に仮想線で記入されているように商品表示ラベル3が蓋体2の上壁のラベル貼着面24又は側壁のラベル貼着面22、或いはこれら両貼着面24と22とにかけて貼着されて出荷される。

【0016】以上鶏卵容器の代表的と思われる実施例について説明したが、本発明は必ずしもこれらの実施例に示した鶏卵容器のみに限定されるものではなく、例えば、第11図は第2実施例として示した味噌容器30であって、この容器30における容器本体31のラベル貼着面32や同蓋体33におけるラベル貼着面34においても実施することができ、その他冷蔵や冷凍の必要な食品、例えば、卵豆腐容器、チーズケーキ容器、モズク容器、プリン容器等その他の容器に実施することができる。その他、本発明にいう構成要件を備え、本発明にいう目的を達成し、以下にいう効果を有する範囲内において適宜改変して実施することができるものである。

## 【0017】

【発明の効果】以上の説明から既に明らかなように、本発明は、シート状の素材で成形させてある食品包装用の容器において、商品表示用のラベルを貼着するラベル貼着面を、ラベルの貼着力を調節するために、貼着力が大きい小面積の平面部と貼着力が小さい微小凹凸部とを適宜の割合で併存する構造としたものであるから、小面積の平面部の配置と割合を適正なものとするにより、ラベルが貼着された状態では、該小面積の平面部の存在で十分な貼着力を有していて、その他の部分では微小凹凸部による小さな貼着力とによって、確実にラベルを貼着させておくことができるものであるから、冷蔵庫内や冷蔵室内に保管されていてラベルの貼着面に微小な結露が発生した場合でも、ラベルが濫りに自然剥離現象を生じて、収縮変形したり、カールしたり、脱落するという不都合な現象を生ずることがない。

【0018】更に、容器の使用後においてラベルを剥離する場合には、剥離が容易にでき、容器の回収後においてラベル等を剥離するに当たっても、多くのコストを掛けることなく容易に剥離除去することが可能で、廃棄容器のリサイクル率を高めるのに有益な効果をも有するものである。

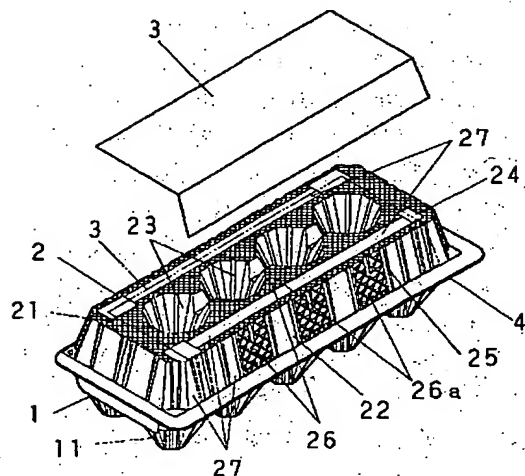
## 【図面の簡単な説明】

- 【図1】第1実施例の容器の閉蓋状態の斜視図。  
 【図2】同、開蓋状態の平面図。  
 【図3】図2におけるA-A線断面図。  
 【図4】開蓋状態の背面図。  
 【図5】同、右側面図。  
 【図6】同、左側面図。  
 【図7】第1実施例の変形例の斜視図  
 【図8】同、他の変形例の斜視図。  
 【図9】微小突起の拡大斜視図。  
 【図10】他の微小突起の拡大斜視図。  
 【図11】第2実施例の蓋の解放状態の斜視図。

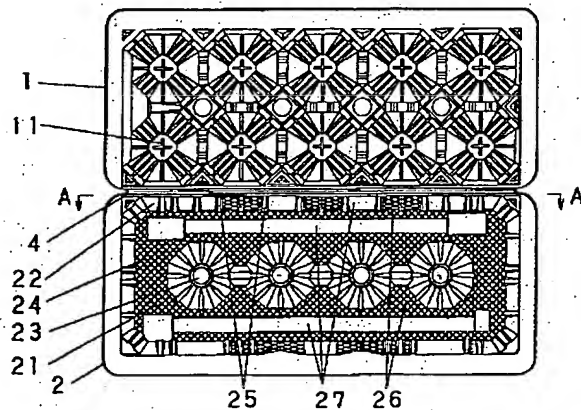
## 【符号の説明】

- 1 容器本体  
 2 蓋体  
 22 側壁のラベル貼着面  
 24 上壁のラベル貼着面  
 26 微小凹凸部  
 26a 凹凸部の微小突起  
 27 小面積の平面部  
 3 ラベル

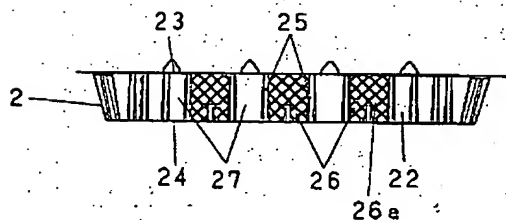
【図1】



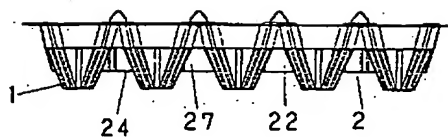
【図2】



【図3】

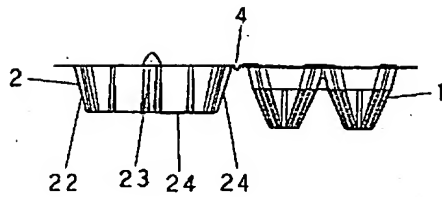


【図4】

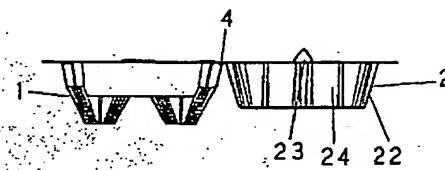


BEST AVAILABLE COPY

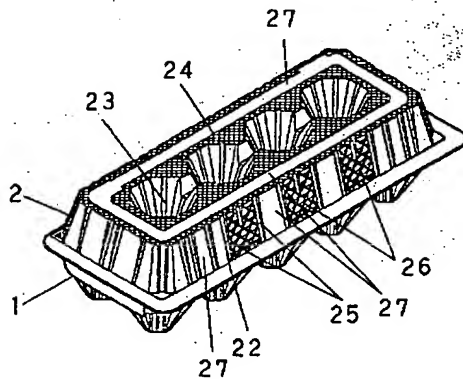
【図5】



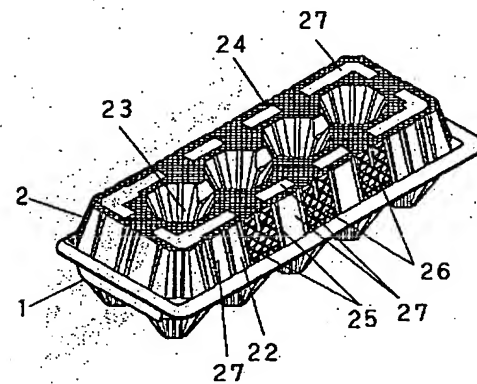
【図6】



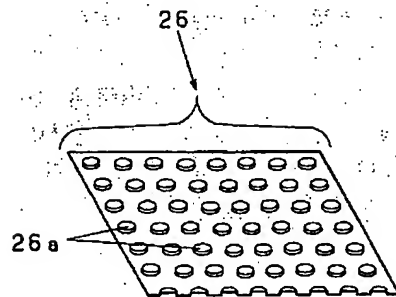
【図7】



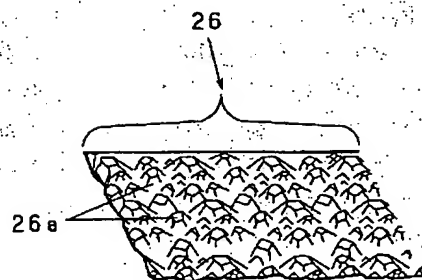
【図8】



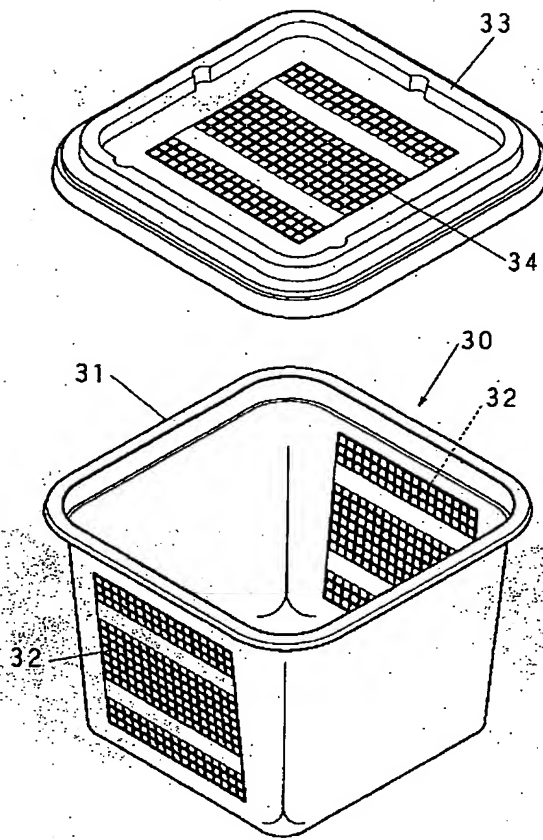
【図9】



【図10】



【図11】



## 【手続補正書】

【提出日】平成12年6月26日(2000.6.26)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正内容】

【0017】

【発明の効果】以上の説明から既に明らかなように、本発明は、シート状の素材で成形させてある食品包装用の容器において、商品表示用のラベルを貼着するラベル貼着面を、ラベルの貼着力を調節するために、貼着力が大きい小面積の平面部と貼着力が小さい微小凹凸部とを適宜の割合で併存する構造とし、小面積の平面部を微小凹凸部の先端部と同じ高さに突出形成したものであるか

ら、小面積の平面部の配置と割合を適正なものとする  
ことにより、ラベルが貼着された状態では、該小面積の平  
面部の存在で十分な貼着力を有していて、その他の部分  
では微小凹凸部による小さな貼着力とによって、内容商  
品の販売のために冷蔵または冷凍保管した場合、若しく  
は店内において、冷蔵機や冷凍機内に収容させた状態で  
販売するような場合にあっては、貼着したラベルが吸湿  
若しくは結露現象によって自然に剥離し、商品価値を低  
下させるような不都合な事態の発生を回避し、確実にラ  
ベルを貼着させておくことができるものであるから、冷  
蔵庫内や冷蔵室内に保管されていてラベルの貼着面に微  
小な結露が発生した場合でも、ラベルが濫りに自然剥離  
現象を生じて、収縮変形したり、カールしたり、脱落す  
るという不都合な現象を生ずることがない。

フロントページの続き

Fターム(参考) 3E033 AA08 AA10 BA13 BA18 CA02

DA01 DA02 DA08 DD11 DE13

DE20 EA02 GA03

3E062 AA20 AB14 AC02 DA02 DA07

3E067 AA04 AA17 AB01 AB10 AB18

AC04 BA02A BA10A BA27A

BB14A EA04 EE04 EE06

EE07 GA01 GD08

3E096 AA09 BA26 BB09 CA06 CB10

CC02 DA13 DC01 EA02X

EA02Y FA40 GA02